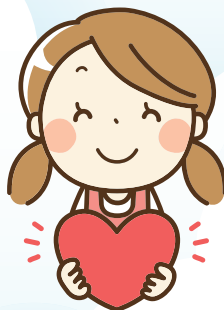


幼児教育・保育への大いなる期待

乳幼児期は人格形成の基盤

質の高い幼児教育・保育は、「自分の存在を大切に思い、違う価値観も受け止められる心」、「新たなことにチャレンジしようとする気持ち」、「成功や失敗から学べる力」などの非認知能力の獲得に重要な役割を果たしています。また、この力の獲得によって、学力などの認知能力を高める土台ができると言われています。



幼児教育・保育従事者からの願いと保護者からの思い

本市では、これまで幼児教育・保育施設の職員を対象に情報提供や研修会を開催してきましたが、幼児教育・保育の質の更なる向上のため、本市独自の幼児教育・保育の質の基準を示すガイドラインの策定や経験豊かなアドバイザーからの助言などが求められています。また、平成30年度(2018年度)に実施した、子どもの施策に係る保護者アンケート調査で「幼児教育・保育の充実」と回答した方が、前回調査比で増加率第1位となっており、市民からの幼児教育・保育への期待も高まっています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

平成29年(2017年)に幼児教育・保育施設における各要領・指針が改訂されました。幼児教育・保育は小学校の教育を前倒しするのではなく、子どもの主体的な遊びを通じて、「生きる力の基礎を培う」ことを目的としています。また、各施設共通の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示し、幼児教育・保育施設と小学校との円滑な接続を求めています。



「八王子市幼児教育・保育センター」の設置

本市では、令和2年(2020年)4月に八王子市子ども・若者育成支援計画「ビジョンすくすくてくてくはちおうじ」を策定し、乳幼児期の教育・保育の質のさらなる向上を実現させるため、「八王子市幼児教育・保育センター」を設置しました。ここでは、幼児教育・保育の実践的な質の向上に向け、次の4つの柱を立てて取組を推進していきます。

幼児教育・保育センターの概要

八王子市幼児教育・保育センター（機能）

幼児教育・保育アドバイザー

① 研修機能

幼児教育・保育従事者を対象とした八王子市主催の研修を一元化するとともに、幼児教育・保育従事者のキャリアにあわせた世代別研修や、公開保育の実施、また、園内研修の充実などによって、さらに幼児教育・保育の質を高めます。

③ 情報収集・発信

国や都の幼児教育・保育に関する情報や、各施設の特徴的な取り組み内容などを幼児教育・保育従事者に発信し、幼児教育・保育の充実に結びつけます。また、各施設からの意見を取り入れながら「幼児教育・保育の質ガイドライン」を作成し、その活用を推進します。

巡回発達支援相談員

② 幼児教育・保育施設への支援機能

特別な支援を必要とする子に関する各施設への支援を拡充するほか、幼児教育・保育施設の園長経験者、小学校長経験者からなる幼児教育・保育アドバイザーを配置し、各施設の巡回支援を通じて、幼児教育・保育に関する課題を共有し、課題解決を進めます。

④ 関係機関をつなぐ連携機能

八王子市保・幼・小連携の推進に関するガイドラインに基づき、小学校において作成した「スタートカリキュラム」の内容を踏まえた「遊びをととした総合的なカリキュラム」の作成を検討するなど、保・幼・小の接続をはじめ、関係機関との連携を強化しながら、幼児教育・保育の質を高めます。

主な関係機関

子ども家庭支援センター

保健福祉センター

児童館

児童発達支援センター

医療機関

指導・助言



幼児教育・保育施設

連携



小学校

連携

教育委員会